

科目名	IT技術						
科目名(英)							
単位数	4単位		時間数	70時間		担当者	山中 勇輔
実施年度	2023年度		実施時期	後期		担当者実務経験	
対象学科・学年	ビジネスエキスパート科1年						
授業概要	ITパスポート試験テクノロジー分野の知識を習得する。知識習得の目安としては以下を目安とする。 ・コンピュータシステム、ネットワーク、情報セキュリティに関する基礎知識を学び、名称と概要を説明できる。 ・テクノロジー分野に該当するIT用語を、問題説明から導き出して選択解答することが出来る。						
	iCDタスクコード		SP05.29.3				
授業形態	講義： ○		演習：	実習：	実技：	※ 主たる形態：○ その他：△	
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○					情報技術に関する基礎的な専門用語を学び、意味を説明することができる。	
		○				情報機器について、性能、特性や機能を理解し、適切に活用できるようにする。	
		○				システムの構成について理解し、処理形態や評価指数について説明できる。	
	○					入出力デバイス、インタフェースについて語句及び意味を覚え、選択問題を解ける。	
		○				信頼性や稼働率について種類と式を学び正しい稼働率を算出できる。	
テキスト・教材 参考図書	FOM よくわかるマスター ITパスポート試験対策テキスト&過去問題集						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1-2	基礎理論(離散数学、応用数学)				基数変換できるようにしておくこと。	
	3-4	基礎理論(情報に関する理論)					
	5-6	アルゴリズムとプログラミング					
	7-8	コンピュータ構成要素					
	9-10	システム構成要素(システムの構成)					
	11-12	システム構成要素(システムの評価指数)				稼働率履修時は計算が出来るようにしておくこと。	
	13-14	ソフトウェア(OS)					
	15-16	ソフトウェア(開発ツール、OSS)					
	17-18	ハードウェア					
	19-20	ヒューマンインタフェース					
	21-22	データベース①					
	23-24	データベース②					
	25-26	データベース③					
	27-28	データベース④					
	29-35	まとめ、分野補足授業				総復習	
評価方法	(1)授業の中で小テストを数回実施する。(2)定期価試験を実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	◎				60%
	小テスト	○	○				20%
	授業態度・意欲				◎		20%
履修上の注意							

科目名	セルフプレゼンテーションB						
科目名(英)							
単位数	2単位		時間数	30時間		担当者	山田 智代子
実施年度	2023年度		実施時期	後期		担当者実務経験	
対象学科・学年	ビジネスエキスパート科1年						
授業概要	・もっと話す聴くができるようになる。 ・グループワークを通じて、自分の考えを表現し、他者の意見を受け入れる。 ・発表で成果を得る。						
	iCDタスクコード		CM01.8.5				
授業形態	講義： ○		演習： △	実習：	実技：	※ 主たる形態：○ その他：△	
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標	
	○		○	○		いつでも感じの良い挨拶ができる	
	○	○	○	○		グループワークでの積極的な立ち居振る舞いができる	
	○	○	○	○		自分の考えを表現し、他者の考えを受け入れることができる	
	○	○	○	○		目的を意識して行動できる	
	○	○	○	○		全体を考えて、時間管理・行動・成果を上げることができる	
テキスト・教材 参考図書	実践ビジネスマナー/ウィネット						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	おさらい/挨拶・立ち居振る舞い・話す聴く・受付対応				自分の課題を振り返り、表現。	
	2	ディスカッション① 成果を上げるために				チャレンジする。 コミュニケーションを意識して行動。	
	3	電話対応/受ける・取り次ぐ				わかりやすく話す。声の出し方を意識。	
	4	電話対応/受ける・取り次ぐ・用件を聞く				相手に正確に伝わっているか、確認。	
	5	発表/準備①				みんな初めてのこと。チャレンジする気持ちで取り組む。	
	6	発表/準備②				仕事を見つける。 伝えたいことを伝える表現とは。	
	7	発表/準備③				自分が仕事をするだけでなく、他者の様子を見ながら アドバイスや手助けを行う。	
	8	発表/準備④				客観的に見る目を養いと改善点を見つける。	
	9	発表/準備⑤				自分の仕事だけでなく、グループ全体を見て仕事を進める。	
	10	発表/準備⑥				伝えるための手段。 「どう伝えたいか」ではなく、「どう伝わるか」。	
	11	発表/準備⑦				誰かの役に立つ仕事をしているか。	
	12	発表/準備⑧				目的を再認識。大切なことを見失わない。	
	13	発表/本番					
	14	発表/振り返り・レポート作成					
	15	まとめ					
評価方法	(1)定期試験を実施する。以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	◎		◎		25%
	発表	◎	◎	○			25%
	意欲・取り組み	◎	◎		◎		50%
履修上の注意	・自分がどうなりたいのか、意識し行動することが大切。 ・欠席=各自回復。						

科目名	接遇									
科目名(英)										
単位数	1単位		時間数		18時間		担当者		姫嶋 幸子	
実施年度	2023年度		実施時期		後期		担当者実務経験		航空会社で客室乗務員として勤務	
対象学科・学年	ビジネスエキスパート科1年									
授業概要	サービス接遇検定2級(筆記)準1級(実技)の学習を通じ、目上の方やお客様に対し、社会人として相応しい敬語・感じのよさ・立ち居振る舞いができるようになることを目指す。									
	iCDタスクコード		SP02.12.5							
授業形態	講義: ○		演習: △		実習:		実技:		※ 主たる形態:○ その他:△	
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標				
	○	○				社会人に求められる資質、敬語、社会常識について正しい答えを選択することができる。				
		○				社会人に求められる対人技能、実務処理について正しい答えを選択することができる。				
		○	○			社会人に求められる話し方・態度・物腰を用いて、接客応答を行うことができる。				
テキスト・教材 参考図書	サービス接遇検定実問題集、プリント、「完全図解ビジネスマナー」									
授業計画	回数	授業項目・内容					授業外学修指示			
	1	敬語の理解度チェック(尊敬語/謙譲語)					ロールプレイング模擬試験に向けた練習			
	2	ロールプレイング説明・あいさつ・基本言動					ロールプレイング模擬試験に向けた練習			
	3	ロールプレイング模擬試験①(受験者役・面接官役)					ロールプレイング模擬試験に向けた練習			
	4	グループワーク(物品販売の練習/調理法の伝え方)					ロールプレイング模擬試験に向けた練習			
	5	Ⅱ 専門知識/Ⅲ 一般知識/過去問題・解説					確認テストを行うので、指定の範囲を復習すること			
	6	Ⅳ 対人技能(人間関係/顧客心理)/過去問題・解説					確認テストを行うので、指定の範囲を復習すること			
	7	Ⅴ 実務技能(クレーム対応)/過去問題・解説					確認テストを行うので、指定の範囲を復習すること			
	8	Ⅴ 実務技能(社交儀礼)/過去問題・解説					確認テストを行うので、指定の範囲を復習すること			
	9	模擬面接								
評価方法	(1)模擬面接(ロールプレイングテスト) (2)授業の中で確認テストを適宜実施する (3)模擬面接(ロールプレイングテスト) 以上を下記の観点・割合で評価する 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする									
		言語情報		知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合		
	ロールプレイングテスト			○	◎	○		60%		
	確認テスト	○		◎		○		30%		
	授業態度・意欲					◎		10%		
履修上の注意	授業で学んだことは、アルバイトなど、日常生活の中で実践すること 各テストで60点以上得点できるよう、必ず授業の復習を行うこと									

科目名	ITパスポート試験対策						
科目名(英)							
単位数	4単位		時間数		70時間	担当者	山中 勇輔
実施年度	2023年度		実施時期		後期	担当者実務経験	
対象学科・学年	ビジネスエキスパート科1年						
授業概要	ITパスポート試験範囲の情報知識を習得する。知識習得の目安としては以下を目安とする。 ・該当する範囲のシラバスから出題された問題から趣旨を読み取り解答を選択することができる。 ・シラバスに該当するIT用語を、理解し、意味を説明することができる。						
	iCDタスクコード		SP05.29.3				
授業形態	講義： ○		演習：		実習：	実技：	※ 主たる形態：○ その他：△
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標	
	○	○				情報技術に関する専門用語を学び、意味を説明することができる。	
		○				計算問題を理解し正しい答えを算出できる。	
	○	○				過去問題・答案練習を解く事で、出題の傾向を学習し、選択問題を解くことが出来る。	
テキスト・教材 参考図書	FOM よくわかるマスター ITパスポート試験対策テキスト&過去問題集						
授業計画	回数	授業項目・内容					授業外学修指示
	1-2	IT技術分野 補足授業①					
	3-4	IT技術分野 補足授業②					
	5-6	IT技術分野 補足授業③					
	7-8	IT技術分野 補足授業④					
	9-10	IT技術分野 補足授業⑤					
	11-12	IT技術分野 補足授業⑥					
	13-14	IT技術分野 補足授業⑦					
	15-16	IT技術分野 補足授業⑧					
	17-18	IT技術分野 補足授業⑨					
	19-20	過去問題該当分野テスト及び解説					
	21-22	過去問題該当分野テスト及び解説					
	23-24	過去問題該当分野テスト及び解説					
	25-26	過去問題該当分野テスト及び解説					
	27-29	過去問題該当分野テスト及び解説					
	30-35	補助講義及び問題演習					
評価方法	(1)授業の中で過去問題のテストを実施する。これを確認テストとして扱う。(2)単元ごとの総まとめテストを授業内評価試験として実施する。(3)弱点をまとめたノート提出を適宜義務付ける。以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	授業内評価試験	◎	◎				50%
	小テスト	○	○				25%
	課題提出				◎		25%
履修上の注意							

科目名	IT戦略						
科目名(英)							
単位数	1単位		時間数	28時間		担当者	瀬崎 美佐緒
実施年度	2023年度		実施時期	後期		担当者実務経験	
対象学科・学年	ビジネスエキスパート科1年						
授業概要	ITパスポート試験ストラテジ分野の知識を習得する。知識習得の目安としては以下を目安とする。 ・企業活動、経営戦略、システム戦略に関する基礎用語の名称と概要を説明できる。 ・ストラテジ分野に該当するIT用語を、問題説明から導き出して選択解答することが出来る。						
	iCDタスクコード		SP01.5.2				
授業形態	講義： ○		演習：	実習：	実技：	※ 主たる形態：○ その他：△	
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標	
	○					企業活動に必要な経営管理の手法や、経営戦略用語を理解し、説明できる。	
	○					企業における法務を支える著作権に関する基礎知識と用語、概要を理解し、説明できる。	
	○	○				SWOTやPPMなどのマネジメント手法を学び、活用されている事例を理解し説明できる。	
	○					システム化計画の手順を学び、ユーザ側の立場からシステム調達を理解、説明できる。	
	○	○				財務についての用語や計算方法を理解し、損益分岐点や利益の算出が出来る。	
テキスト・教材 参考図書	FOM よくわかるマスター ITパスポート試験対策テキスト						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	企業と法務 企業活動					
	2	企業と法務 企業活動					
	3	企業と法務 企業活動					
	4	企業と法務 各種法規					
	5	企業と法務 各種法規					
	6	企業と法務 各種法規					
	7	経営戦略 経営戦略マネジメント					
	8	経営戦略 経営戦略マネジメント					
	9	経営戦略 技術戦略					
	10	経営戦略 ビジネスインダストリ					
	11	経営戦略 ビジネスインダストリ					
	12	システム戦略 様々なシステム戦略					
	13	システム戦略 システム企画					
	14	システム戦略 システム企画					
	15						
評価方法	(1)授業の中で確認テストを10回実程度実施する。(2)単元終了後、成績評価試験を実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。提出物はノート及びプリントで、点数ではなく提出率を鑑みる。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	授業内評価テスト	◎	◎				55%
	確認テスト	○	○				25%
	授業態度・提出物				◎		20%
履修上の注意							

科目名	Word演習						
科目名(英)							
単位数	4単位		時間数		60時間	担当者	田中 陽子
実施年度	2023年度		実施時期		後期	担当者実務経験	
対象学科・学年	ビジネスエキスパート科1年						
授業概要	文書の作成・保存、文字への書式設定、段落の設定、箇条書きや段落番号の設定や変更、表の作成・編集、文書の印刷など、さまざまな目的や状況に応じた文書を作成・編集するスキルを身に付ける						
	iCDタスクコード						
授業形態	講義：△		演習：○		実習：	実技：	※ 主たる形態：○ その他：△
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
		○				文章や文字列、段落に書式を設定することができる	
		○				表の作成や図形、オブジェクトの挿入ができる	
		○				脚注・資料文献・図表番号を挿入できる	
テキスト・教材 参考図書	MOS Word 365&2019 対策テキスト&問題集(FOM出版)						
授業計画	回数	授業項目・内容					授業外学修指示
	1	Word基本操作、タイピング練習、ビジネス文書作成					
	2-5	文書の管理					
	6-8	文字、段落、セクションの挿入と書式設定					
	9-11	表やリストの管理					書式設定を理解しておくこと
	12-14	参考資料の作成と管理					表の作成、並べ替えを理解しておくこと
	15-17	グラフィック要素の挿入と書式設定					脚注、文末脚注を理解しておくこと
	18-19	文書の共同作業の管理					
	20-21	模擬試験実施 第1回から第5回解説					
	22-23	模擬試験実施 第1回から第5回解説					間違った問題の見直しをしておくこと
	24-25	模擬試験実施 第1回から第5回解説					間違った問題の見直しをしておくこと
	26	模擬試験実施 本番に合わせて時間を計り演習、解説					間違った問題の見直しをしておくこと
	27	模擬試験実施 本番に合わせて時間を計り演習、解説					間違った問題の見直しをしておくこと
	28	模擬試験実施 本番に合わせて時間を計り演習、解説					間違った問題の見直しをしておくこと
	29	模擬試験実施 本番に合わせて時間を計り演習、解説					間違った問題の見直しをしておくこと
	30	総復習					これまで習った機能を理解しておくこと
	評価方法	(1)授業内評価テスト、確認テストを実施する。(2)課題演習：単元ごとの確認問題を解答し提出する。以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。					
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
授業内評価テスト			◎				60%
確認テスト			○				20%
課題演習			○		○		20%
履修上の注意							

科目名	PowerPoint演習									
科目名(英)										
単位数	2単位		時間数		30時間		担当者		田中 陽子	
実施年度	2023年度		実施時期		後期		担当者実務経験			
対象学科・学年	ビジネスエキスパート科1年									
授業概要	スライドマスターの編集、アニメーションや画面切り替え効果の適用・編集、スライドショーの設定、配布資料の作成など、さまざまな目的や状況に応じてプレゼンテーションを作成・編集できるスキルを身に付ける									
	iCDタスクコード									
授業形態	講義：△		演習：○		実習：		実技：		※ 主たる形態：○ その他：△	
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標				
		○				プレゼンテーションを作成し、スライドに書式設定ができる				
		○				表やグラフ、オブジェクトの挿入ができる				
		○				画面切り替えやアニメーションを設定できる				
テキスト・教材 参考図書	MOS PowerPoint 365&2019 対策テキスト&問題集(FOM出版)									
授業計画	回数	授業項目・内容					授業外学修指示			
	1	PowerPoint基本操作、スライドの管理								
	2	テキスト、図形、画像の挿入と書式設定								
	3	テキスト、図形、画像の挿入と書式設定								
	4	表、グラフ、SmartArt、3Dモデル、メディアの挿入								
	5	表、グラフ、SmartArt、3Dモデル、メディアの挿入					スライドの書式設定を理解しておくこと			
	6	画面切り替えやアニメーションの適用								
	7	プレゼンテーションの管理					表、グラフの挿入ができるようにしておくこと			
	8	プレゼンテーションの管理								
	9	模擬試験実施 第1回から第5回解説					間違った問題の見直しをしておくこと			
	10	模擬試験実施 第1回から第5回解説					間違った問題の見直しをしておくこと			
	11	模擬試験実施 第1回から第5回解説					間違った問題の見直しをしておくこと			
	12	模擬試験実施 本番に合わせて時間を計り演習、解説					間違った問題の見直しをしておくこと			
	13	模擬試験実施 本番に合わせて時間を計り演習、解説					間違った問題の見直しをしておくこと			
	14	模擬試験実施 本番に合わせて時間を計り演習、解説					間違った問題の見直しをしておくこと			
	15	総復習					これまで習った機能を理解しておくこと			
評価方法	(1)授業内評価テスト、確認テストを実施する。(2)課題演習：単元ごとの確認問題を解答し提出する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。									
		言語情報		知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合		
	授業内評価テスト			◎				60%		
	確認テスト			○				20%		
	課題演習			○		○		20%		
履修上の注意										

科目名	IT管理							
科目名(英)								
単位数	2単位		時間数	32時間		担当者	瀬崎 美佐緒	
実施年度	2023年度		実施時期	後期		担当者実務経験		
対象学科・学年	ビジネスエキスパート科1年							
授業概要	ITパスポート試験マネジメント野の知識を習得する。知識習得の目安としては以下を目安とする。 ・経営戦略マネジメントの基礎用語の名称と概要を理解し、説明できる。 ・マネジメント分野及びストラテジ分野の過去問題(選択問題)に適切な回答を選択できる。							
	iCDタスクコード		EX01.39.4					
授業形態	講義: ○		演習:	実習:	実技:	※ 主たる形態:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標		
	○					企業活動に必要な経営管理の手法や、経営戦略用語を理解し、説明できる。		
	○					企業における法務を支える著作権に関する基礎知識と用語、概要を理解し、説明できる。		
	○					システム化計画の手順を学び、ユーザ側の立場からシステム調達を理解、説明できる。		
	○	○				マネジメント分野の用語や計算方法を理解し、解答の算出ができる。		
テキスト・教材 参考図書	FOM よくわかるマスター ITパスポート試験対策テキスト&過去問題集							
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示		
	1	開発技術 システム開発のプロセス(1)						
	2	開発技術 システム開発のプロセス(2)						
	3	開発技術 ソフトウェアの見積・ソフトウェア開発プロセス						
	4	プロジェクトマネジメント概要						
	5	プロジェクトマネジメント知識エリア						
	6	サービスマネジメント サービスマネジメントシステム(1)						
	7	サービスマネジメント サービスマネジメントシステム(2)						
	8	サービスマネジメント サービスマネジメントシステム(3)						
	9	サービスマネジメント まとめ						
	10	システム監査 システム監査概要						
	11	システム監査 システム監査概要						
	12	システム監査 内部統制						
	13	システム監査 内部統制						
	14	マネジメント分野弱点まとめ						
	15-16	過去問題演習						
評価方法	(1)授業の中で確認テストを複数回実程度実施する。(2)単元終了後、成績評価試験を実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。提出物はノート及びプリントで、点数ではなく提出率を鑑みる。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。							
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合	
	授業内評価テスト	◎	◎				55%	
	確認テスト	○	○				25%	
	授業態度・提出物				◎		20%	
履修上の注意								

科目名	教養 I B											
科目名(英)												
単位数	2単位		時間数		30時間		担当者		中村 里佳			
実施年度	2023年度		実施時期		後期		担当者実務経験					
対象学科・学年	ビジネスエキスパート科1年											
授業概要	就職試験に臨むためのSPI(非言語・言語)の内容を学ぶ。論理的思考を養う数学を主教科、読解力を強化する為の国語を副教科とする。											
	iCDタスクコード											
授業形態	講義： ○		演習：		実習：		実技：		※ 主たる形態：○ その他：△			
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標						
	○					非言語能力問題(損益・仕事・鶴亀・速度・確率等)ができる						
	○					言語能力問題(二語関係・文法・語句・長文理解)ができる						
テキスト・教材 参考図書	最新最強のSPIクリア問題集(成美堂出版)											
授業計画	回数	授業項目・内容					授業外学修指示					
	1	確率、言語問題										
	2	時事、割引料金と精算、言語問題					授業で解けなかった問題を復習しておくこと					
	3	分割払いと割合、言語問題					授業で解けなかった問題を復習しておくこと					
	4	推論①、言語問題					授業で解けなかった問題を復習しておくこと					
	5	推論②、言語問題					授業で解けなかった問題を復習しておくこと					
	6	推論③、言語問題					授業で解けなかった問題を復習しておくこと					
	7	時事、推論④、言語問題					授業で解けなかった問題を復習しておくこと					
	8	推論⑤、言語問題					授業で解けなかった問題を復習しておくこと					
	9	集合、言語問題					授業で解けなかった問題を復習しておくこと					
	10	時事、グラフの領域、言語問題					授業で解けなかった問題を復習しておくこと					
	11	時事、ブラックボックス、言語問題					授業で解けなかった問題を復習しておくこと					
	12	図表の読み取り、言語問題					授業で解けなかった問題を復習しておくこと					
	13	時事、物の流れと比率、言語問題					授業で解けなかった問題を復習しておくこと					
	14	問題演習					授業で解けなかった問題を復習しておくこと					
	15	総復習					授業で解けなかった問題を復習しておくこと					
評価方法	(1)定期試験を実施する。(2)授業の中で確認テストを実施する。(3)課題はASOドリルレベル2国語数学の実力テストとする。以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。											
		言語情報		知的技能		運動技能		態度・意欲		その他		評価割合
	定期試験	◎										60%
	確認テスト	○										20%
	課題	○						○				20%
履修上の注意												

科目名	キャリアデザイン						
科目名(英)							
単位数	2単位		時間数	30時間		担当者	田中 陽子
実施年度	2023年度		実施時期	後期		担当者実務経験	
対象学科・学年	ビジネスエキスパート科1年						
授業概要	将来どのような働き方をして、どのような人生を実現したいのか自ら設計する。 就職試験の面接に合格する為に模擬面接を行い、質問の趣旨に沿った的確な受け答えができるようになる。						
	iCDタスクコード						
授業形態	講義： ○		演習：	実習：	実技：	※ 主たる形態：○ その他：△	
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標	
	○	○				志望する業界・職種についての特徴を正しく理解し、志望理由を説明できる	
	○	○	○			面接の手順を理解し、ロールプレイングにおいて立ち居振る舞いを実行できる	
	○	○				面接において受けた質問に対して的確に受け答えを行える	
テキスト・教材 参考図書	就職ガイドブック(麻生塾)						
授業計画	回数	授業項目・内容					授業外学修指示
	1	就職環境を知ろう(就職活動の流れとスケジュール、様々な雇用形態と働き方)					
	2	自己分析・他己分析①					自己分析の課題を作成・提出
	3	自己分析・他己分析②					自己分析の課題を作成・提出
	4	仕事研究①(会社の基礎知識、業界と職種)					
	5	仕事研究②(会社の基礎知識、業界と職種)					
	6	自己表現①自己PR作成					自己PRの課題を作成・提出
	7	自己表現②自己PR作成					自己PRの課題を作成・提出
	8	自己表現①志望業種と志望職種					業界研究、職種研究レポートを作成・提出
	9	自己表現②志望業種と志望職種					業界研究、職種研究レポートを作成・提出
	10	面接試験対策①(求職票受付面接について、面接のマナーと動き)					
	11	面接試験対策②(求職票受付面接について、面接のマナーと動き)					
	12	面接試験対策③(よくある質問の傾向と対策、ロールプレイング)					
	13	面接試験対策④(よくある質問の傾向と対策、ロールプレイング)					
	14	面接試験対策⑤(ロールプレイング、課題フィードバック)					
	15	面接試験対策⑥(ロールプレイング、課題フィードバック)					
評価方法	(1)レポート・課題を提出する。(2)面接練習への取り組みを評価する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準はR(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	レポート・課題	○	◎				60%
	面接練習	○	◎	◎	◎		40%
履修上の注意	レポート、課題は全て提出すること。						

科目名	IT総論						
科目名(英)							
単位数	5単位		時間数	80時間		担当者	山中 勇輔
実施年度	2023年度		実施時期	後期		担当者実務経験	
対象学科・学年	ビジネスエキスパート科1年						
授業概要	ITパスポート試験テクノロジー分野の知識を習得する。知識習得の目安としては以下を目安とする。 ・コンピュータシステム、ネットワーク、情報セキュリティに関する基礎知識を学び、名称と概要を説明できる。 ・テクノロジー分野に該当するIT用語を、問題説明から導き出して選択解答することが出来る。						
	iCDタスクコード		EX01.39.1				
授業形態	講義： ○		演習：	実習：	実技：	※ 主たる形態：○ その他：△	
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○					ITパスポート試験テクノロジー範囲用語について試験範囲を網羅し、説明できる。	
		○				正規化の実施や、通信料の計算など学んだ知識を使って問題が解ける。	
	○					現代社会の情報リスクについて技術的脅威を学び、脅威の特定が出来る。	
	○	○				セキュリティ用語について試験範囲を網羅し、情報セキュリティポリシの概念を説明できる。	
テキスト・教材 参考図書	FOM よくわかるマスター ITパスポート試験対策テキスト&過去問題集						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1-3	技術要素(情報デザイン)					
	4-6	テクノロジー分野リクエスト分野・未修分野					
	7-10	データベース(データベース方式、設計)等					
	10-13	データベース(データ操作、トランザクション処理)					
	14-17	ネットワーク(ネットワーク方式、通信プロトコル、ネットワーク応用)					
	18-21	セキュリティ(情報セキュリティ、情報セキュリティ対策他)					
	22-24	表計算ソフト(表計算ソフトの機能)					
	25-28	表計算ソフト(関数の利用等)					
	29-40	テクノロジー分野過去問題演習(～令和5年度)					
評価方法	(1)授業の中で小テストを数回実施する。(2)ITパスポート試験受験以前に、単元終了後、授業内評価試験を実施。 (3)ITパスポート本試験の成績も合格ラインを100%として換算する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	授業内評価試験	◎	◎				40%
	小テスト	○	○				20%
	授業態度・意欲				◎		20%
	検定本試験	◎	◎				20%
履修上の注意							

科目名	商業簿記 I B							
科目名(英)	Book keeping							
単位数	3単位		時間数	45時間		担当者	山田 奈々瀬	
実施年度	2023年度		実施時期	後期		担当者実務経験		
対象学科・学年	ビジネスエキスパート科1年							
授業概要	小規模株式会社における企業活動や会計実務を踏まえ、経理関連書類の適切な処理を行うスキルを身に付ける。							
	iCDタスクコード							
授業形態	講義： ○		演習： △	実習：	実技：	※ 主たる形態：○ その他：△		
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標		
		○				取引伝票を読み取り仕訳日計表の作成が出来る。		
		○				商品有高帳(移動平均法)の作成が出来る。		
		○				各勘定科目の締め切りが出来る。		
テキスト・教材 参考図書	合格テキスト・問題集 日商簿記3級 Ver.14.0合格セット TAC出版							
授業計画	回数	授業項目・内容					授業外学修指示	
	1	固定資産売却・減価償却費/電子記録債権・債務/クレジット売掛金/法定福利費						
	2	訂正仕訳						
	3	決算整理(当座借越・費用収益の前払・前受・未収・未払・貯蔵品)						
	4	精算表復習						
	5	精算表復習						
	6	試算表説明						
	7	試算表作成練習						
	8-9	財務諸表説明・作成練習						
	10-11	試算表・財務諸表確認テスト①						
	12-13	補助簿(固定資産台帳・商品有高帳移動平均法)						
	14-15	仕訳日計表・補助簿選択						
	16-17	総勘定元帳締め切り説明・練習問題						
	18-19	模擬問題						
	20-21	模擬問題						
	22-23	模擬問題						
評価方法	(1)評価試験は筆記試験とし、最終回に商業簿記 I B評価テストとして実施する。 (2)確認テストは、①試算表・財務諸表の2問、②補助簿1問とし、6割以上の仕訳りで20%の評価とする。 (3)授業への取り組みでは、必要教材の忘れ物が6回まで、居眠り注意6回まで、私語注意6回まで、過去問題集を検定後提出(全て記入・採点した状態)した場合20%評価とする。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。							
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合	
	定期試験		◎				60%	
	確認テスト		○				20%	
	授業への取り組み・提出物				○		20%	
履修上の注意	簿記のしくみは、知識を積み重ねていく内容となるため、欠席とならないよう自己管理に努めてほしい。 簿記の授業では電卓が必要不可欠なものとなるため、日ごろから練習を要する。							